

# 防災・消防

## 防災

留萌管内は、1年を通じて風が強く、暴風雪等により毎年のように被害が発生しています。住民の安心・安全を守り、災害時に発生する被害を最小限に抑えるため、自主防災組織を育成するなど、地域住民の防災意識の高揚に向けた取り組みを進めています。

### 最近の主な災害発生状況

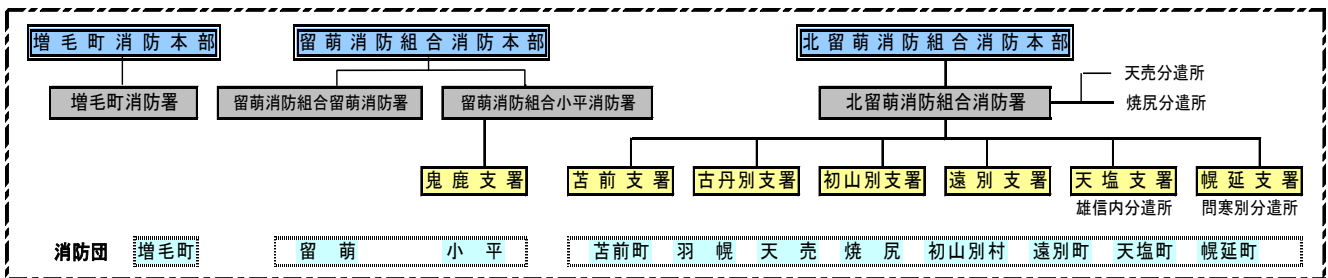
年月日	現象	人的被害	住家被害	その他被害
平成16年 2月22日 ～ 2月23日	暴風雪、波浪	死者1 重傷1		農業被害等
平成16年 9月 8日 ～ 9月 9日	強風、波浪 (台風18号)	重傷1 負傷31	住家半壊・破損770、 床上浸水9、床下浸水6	道路損壊74、漁港施設17、営農施設2,911件など農業、林業、水産、 商工、衛生、土木、公共文教施設、社会福祉施設被害等多数
平成16年12月14日	地震	負傷8	住家被害165	道路損壊15、橋梁破損5、下水道施設、農業、水産、商工、土木、衛生、 公共文教施設、社会福祉施設被害等
平成22年 8月13日 ～ 8月14日	大雨		住家被害1、 床上浸水16、床下浸水4	農地流失・冠水647ha、農業用施設、道路、河川、林地、水産、水道被害 等
平成26年 8月 4日 ～ 8月 6日	大雨		床上浸水9、床下浸水6	土砂崩れ、農業、土木、林業、商工、公立文教施設、公共施設等
平成27年10月 1日 ～ 10月 3日	暴風、波浪、高潮	重傷1 軽傷1	住家被害33	非住家、農業、土木、水産、林業、商工、公共文教施設、社会教育施設、 社会福祉施設等
平成29年 9月18日 ～ 9月19日	暴風、大雨、波浪 (台風18号)	重傷1	住家被害2	非住家、農業等
平成29年11月10日 ～ 11月12日	暴風、波浪	重傷1 軽傷1	住家被害103	非住家、農業、水産、公立文教施設、社会教育施設、医療施設等
平成29年12月25日 ～ 12月27日	暴風雪、波浪	軽傷1	住家被害16	非住家、水産、商工、公立文教施設、社会教育施設等
平成30年7月3日 ～ 7月5日	大雨		床上浸水1、床下浸水13	農業、土木、水産、林業、衛生等
平成30年9月6日	地震			水産、衛生、商工、農業等(停電による被害)
令和元年12月3日 ～ 12月4日	暴風雪、波浪	重傷1 軽傷1		
令和2年2月16日 ～ 2月18日	暴風雪、波浪		住家被害10	非住家、農業、土木、水産、公立文教施設、社会教育施設、都市施設等
令和4年8月8日 ～ 8月9日	大雨、洪水、土砂 災害			農業、土木、水産、林業等

(注) 各項目の単位：人的被害(人)、建物・停電(戸)、田畑等の面積(ha)、道路・橋梁・河川・堤防等の決壊・流失(箇所)、木材・山林(m<sup>3</sup>)、船舶(隻)、営農施設(件)、電柱・鉄道(本)で、特異な現象による被害には単位を付けている。(留萌振興局地域政策課調べ)

## 消防

管内には3つの消防本部と11の消防団があり、火災、風水害、地震等の災害から日夜、住民の生命、身体及び財産を守っています。

また、年々、救急業務が多様化・高度化し、救急出動件数も増加傾向にあることに伴い、高規格救急自動車や救命処置用資機材の導入、救急救命士の養成など体制の整備・充実に向けての取り組みが進められています。



### 救急出動件数 (令和4年1月～12月) ※ 令和5年2月現在の速報値のため、今後増減する可能性があります。

種別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	医師搬送	資材搬送	その他
件数	2,312	4	0	8	102	22	1	297	3	6	1,402	439	0	1	27

### 出火の原因 (令和4年1月～12月) ※ 令和5年2月現在の速報値のため、今後増減する可能性があります。

区分	計	たばこ	こんろ	ストーブ	電気機器	電灯電話等の配線	火あそび	マッチ・ライター	たき火	取灰	放火	その他	不明調査中
件数	21	0	0	1	2	0	0	1	0	1	0	4	12